

# EM団子と空芯菜

## 今年もやります

がけ川ジャブジャブ大作戦

今年も始まる「がけ川ジャブジャブ大作戦2004」。

昨年、環境問題に取り組むNPO足立グリーンプロジェクト（平田裕之代表）と地域住民、そして行政が協力し、延べ22000人が参加してがけ川（足立区の北東部にある、八潮市との県境を流れる川）の浄化に取り組んできた。

6月3日、六木住区センターで「大集会」が行われた。同プロジェクトチームの鈴木久雄会長（神明上町会会長）は「今年も、八潮の川をきれいにすることも協力してくれることになった。皆で一緒に頑張りたい」と活動の広がりを報告した。約88人が参加したこの集会では、今年も活動についての予定や質疑応答が行われ、早くも熱気ムンムン。

昨年は主に、赤土にEM

飛原

足立

掛け声で一斉に団子作りが始まった。一方、川では筏（いかだ）を組み、土の入ったケースに空芯菜の種を蒔き、川面に浮かべる作業が進められた。「落っこちるなよ」とひやかされながらも、どこか設置に成功。EM団子は3500個出来上がった。実はこの団子を昨年は一週間後に川に投げ込んだ。しかし、十分に発酵させたほうが、微生物が

より活発にヘドロを分解してくれるということだ。今年は一週間じっくりと発酵させることになった。

今年初めてのEM団子投げが6月27日に行われた。「きれいな川を取り戻そう」という合図とともに集まった約1500人が、小溜井排水機場近くのがけ川にEM団子約2500個を投げ込んだ。このあと、平成東橋付近でも約1000個を投入。この時、団子投げの様子を見ていた人の飛び入り参加もあった。

また、今年の目玉となっている空芯菜は、川に浮かべた後に乗せたケースから土が流れ出し、一緒に種も流れてしまうというハプニングが発生。この日は改良に終了したが、思わず「苦心菜」という声もあがった。

近隣の第十三中では、昨



EM団子を投げこむ参加者たち（6月27日）

## 国際ボラ貯金を寄附

### 足立北郵便局

6月28日、足立北郵便局の平成16年度国際ボランティア貯金寄付金配分決定通知式で、管内の「NPO法人アジア・レインボー・アソシエーション」（馬場裕美子理事長）にも配分されることと通知された。

国際ボランティア貯金とは、預金者が貯金額の税引き後の受取利子の全額、または一部を寄付したもので、国際的に活動する団体を通じて、開発途上地域の福祉

向上に役立てられる。同団体はカンボジアのストリートチルドレンに対する夜間英語学校などの支援、およびベトナムの障害をもつ児童たちへの教育支援を行っている。昨年の活動実績が評価され、配分決定となった。今年度は38万5千円。

平成16年度国際ボランティア貯金寄付金配分決定式



が育た

定